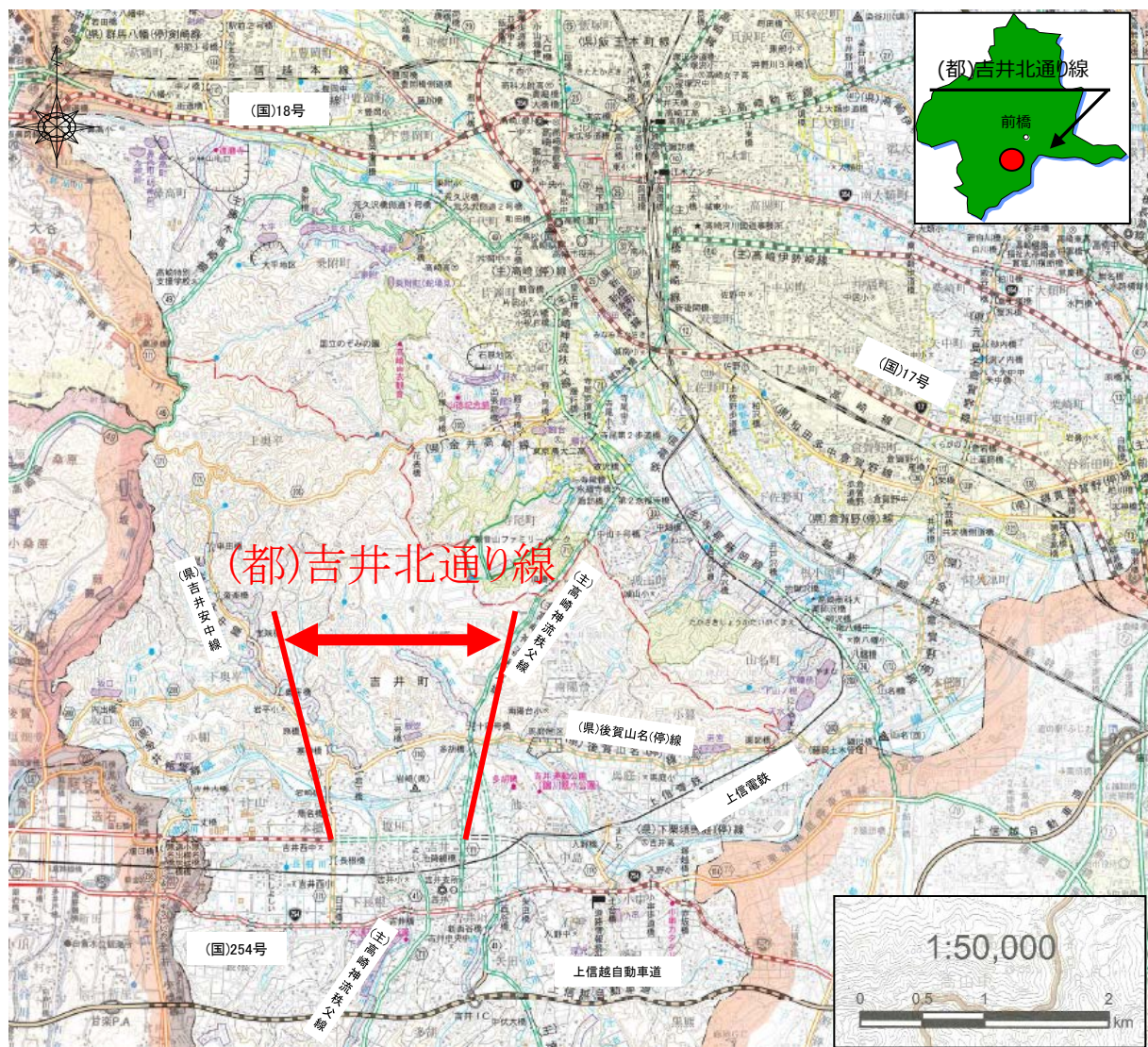


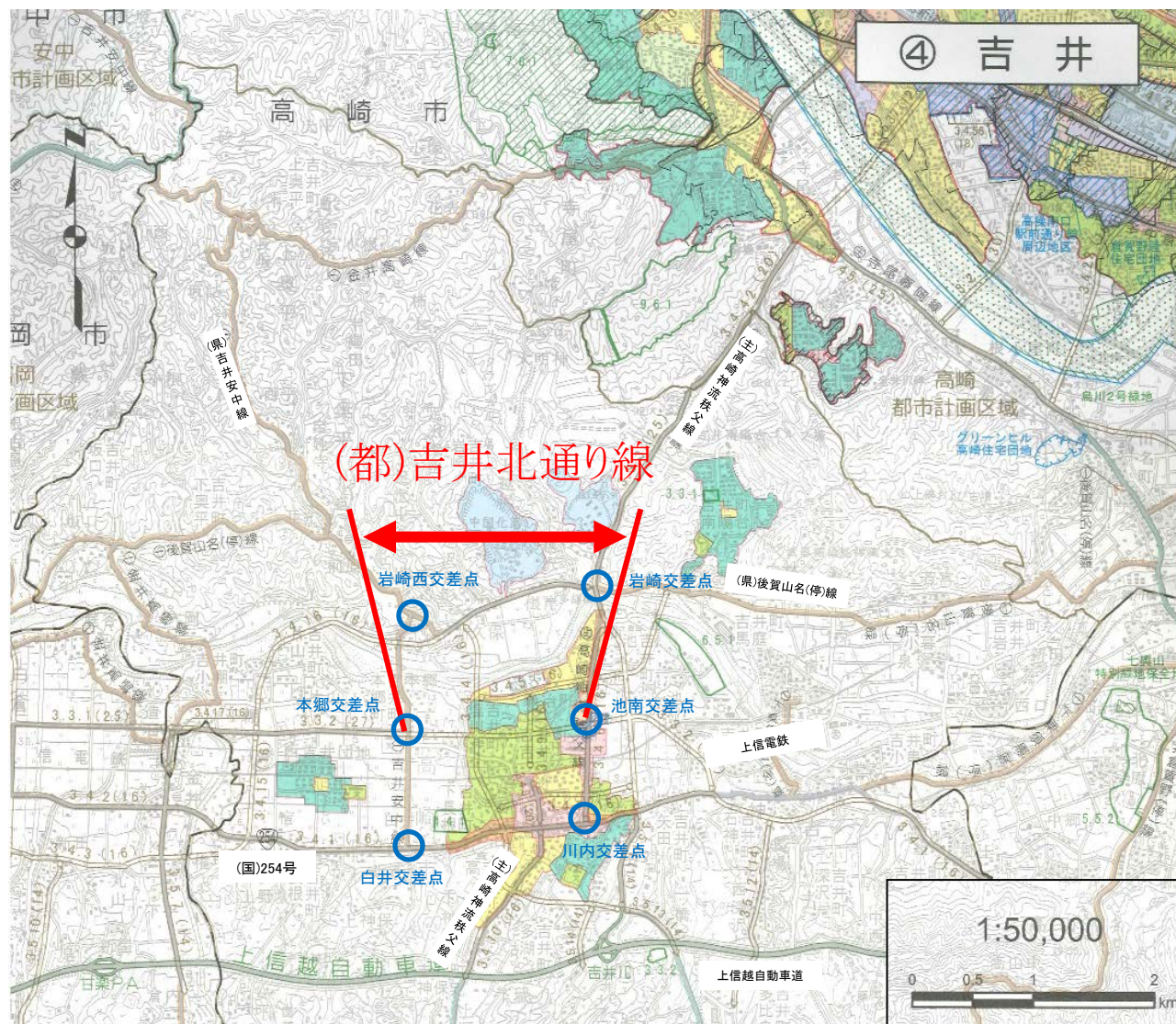
事業概要

ふりがな 応募者名	ぐんまけん 群馬県
ふりがな 事業の名称	よいいとしいかくどうろじぎょう よしいきたどおりせん 吉井都市計画道路事業 3・3・2号 吉井北通り線
ふりがな 事業主体	ぐんまけん 群馬県
ふりがな 実施都市名	ぐんまけんたかさし 群馬県高崎市
事業概要 (400字以内)	本事業は、吉井都市計画道路事業3・3・2号吉井北通り線として都市計画決定された区間のうち、延長1,500m区間を整備し、県南西部において東西へのアクセス性向上に資するものです。本路線は、吉井町の中心市街地を東西に貫き、世界遺産「富岡製糸場」を有する富岡市へ至る広域幹線道路になります。本路線の開通前は東西の交通軸が脆弱であり、主要路線であった国道254号へ交通が集中し、慢性的な渋滞が発生していました。また、本路線の東側約1,000mは第1種中高層住宅地域に位置しているため、本線4車線に加え、本線の外側に環境施設帯として環境緑地帯と副道を整備し、良好な住環境の整備も図っています。
事業規模	○事業延長：1,500m ○事業費：約70億円 ○幅員：35m(環境施設帯設置区間)、27m(一般区間) ○事業期間：平成14年度～平成29年度
事業の目的	高崎市吉井町と富岡市のアクセス性を向上させ、地域全体の活力を向上させることを目的としております。また、現道は渋滞が頻発し、歩道幅員が狭いため歩行者の通行にあたり危険な状態となっています。本事業では、吉井町の交通流動を転換し、車利用者及び歩行者双方の交通環境の改善も目的としております。
事業効果 (効果一覧を参考に 具体的な効果を記入)	○高崎市吉井町中心部～富岡市中心部の移動時間が約25%減少 ○地域を東西に横断する路線全体の交通量が約13%増加 ○本事業箇所近傍の交差点における渋滞長が、朝方において約70%減少、夕方において渋滞が解消
地元対応等 (・地域住民との協働等 ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点)	本路線の東側1,000mは市街化区域に位置しているため環境緑地帯及び副道を整備し、地域の方が利用しやすく、バイパス整備による騒音等を極力減らして地域の方の負担が減るような道路整備を実施しました。

事業位置図

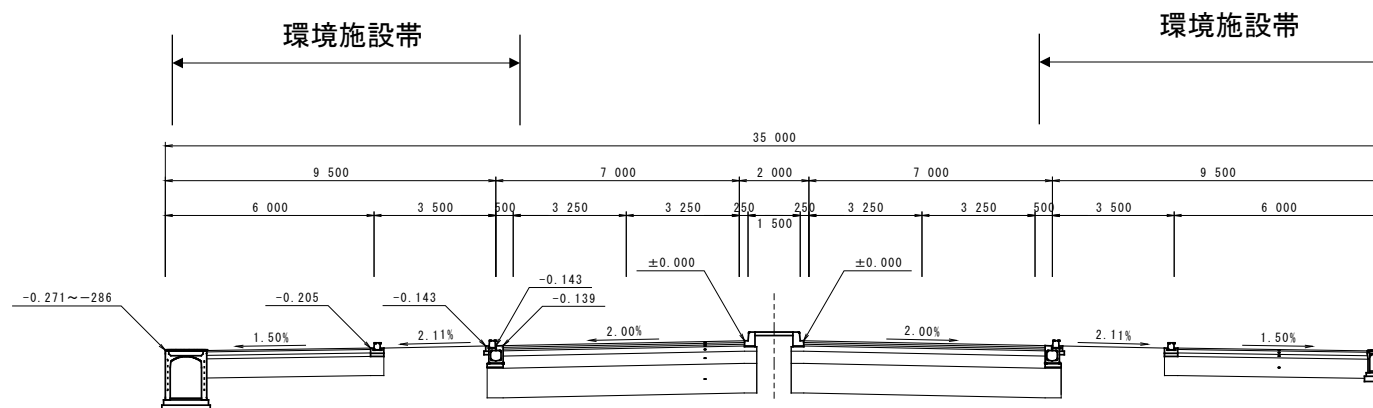


都市計画図(用途地域図)

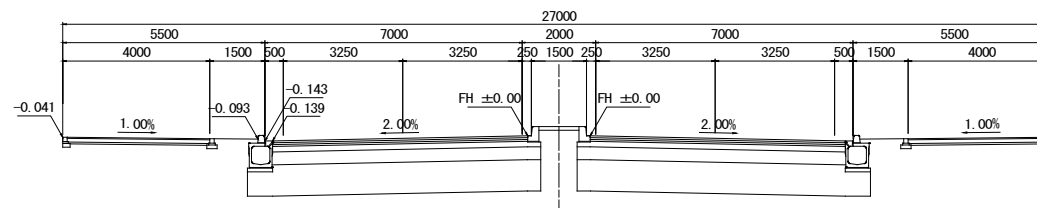


断面図

環境施設帯
設置区間



一般区間



路線全体の進捗状況

吉井都市計画道路 3・3・2号 吉井北通り線 L=4,910m W=27~35m



事業前写真



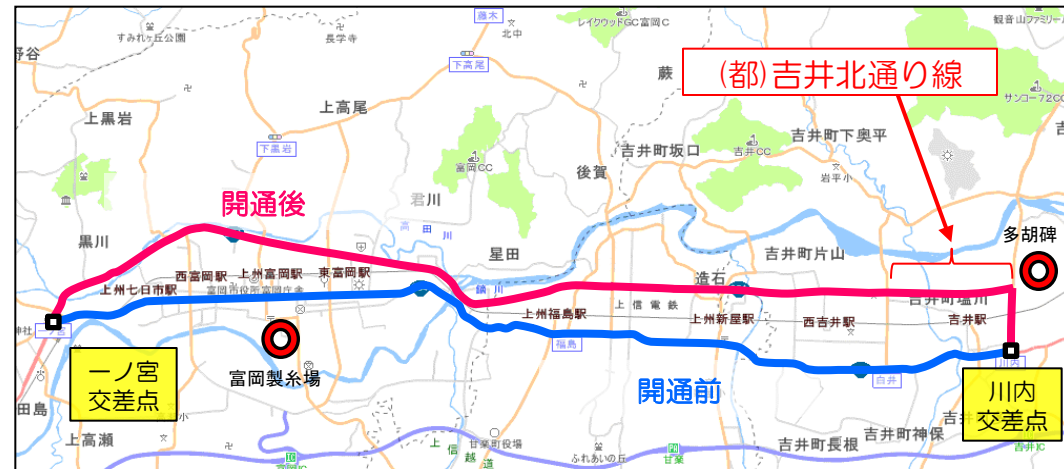
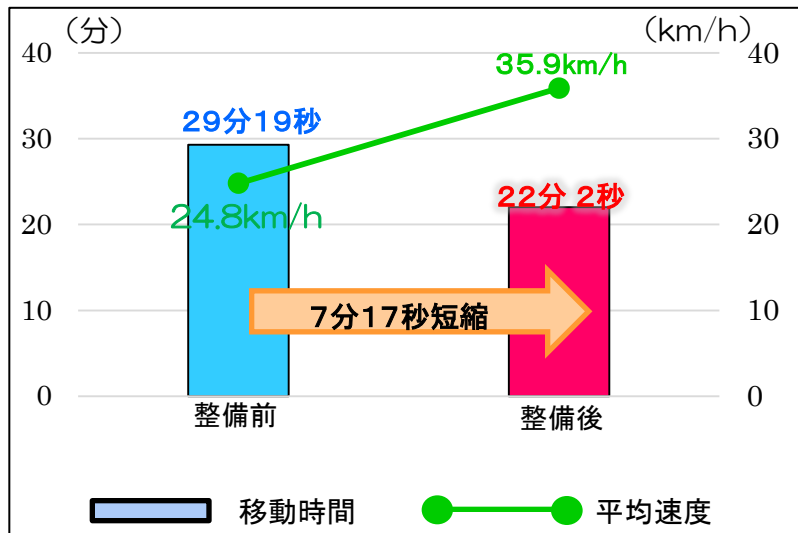
事業後写真



(都)吉井北通り線の事業効果アピール資料

時間の短縮

富岡市(一ノ宮交差点)から吉井町(川内交差点)までの移動時間と平均速度



整備前：平成27年センサスデータから推計
整備後：平成30年5月17日調査

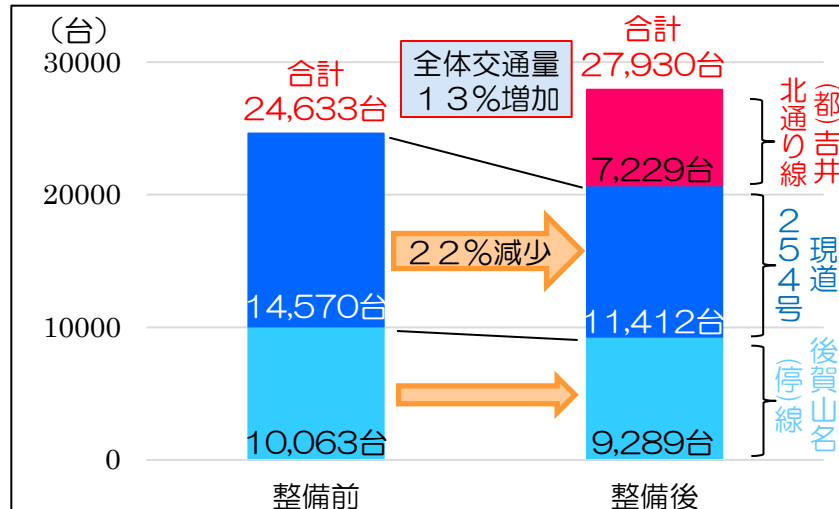
現道経由：12.1km
バイパス経由：13.2km

「事業効果」

本路線の開通により、別事業で整備済みであった道路と接続し、吉井町と富岡市を結ぶ4車線の幹線道路が完成しました。(都)吉井北通り線の整備前と整備後における富岡市中心部(一ノ宮交差点)～高崎市吉井町中心部付近(川内交差点)の移動時間を比較すると、整備後は約7分(約25%)移動時間が短縮しました。これにより、両都市間のアクセス性が向上し、それに伴い本路線周辺に位置する《世界文化遺産》の富岡製糸場や《世界の記憶》の多胡碑(上野三碑)への観光客数増加が期待されます。

交通量の変化

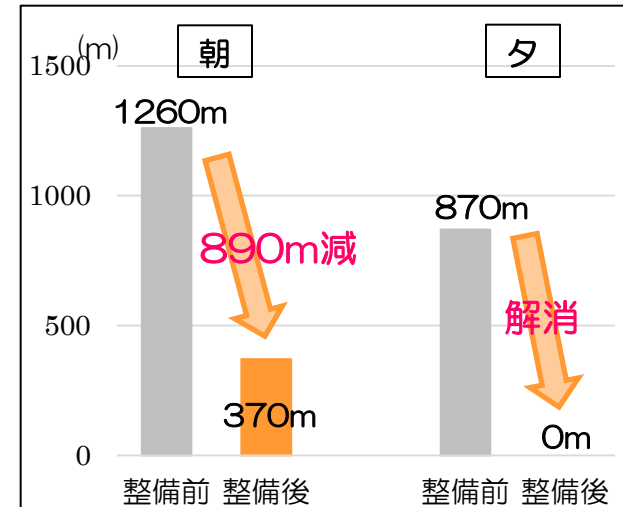
1日の交通量の変化



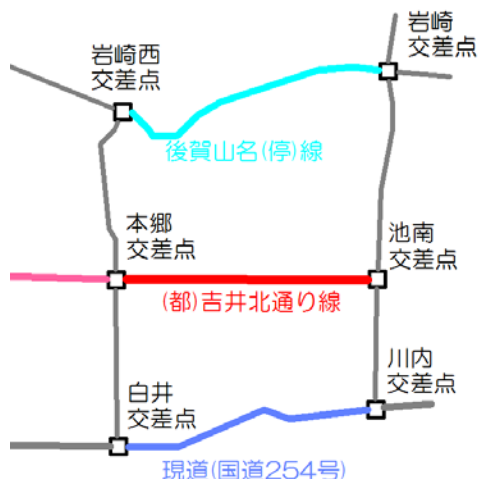
整備前：平成27年センサスデータから推計
整備後：平成30年5月17日調査

渋滞の緩和

岩崎交差点(西側)の渋滞長



整備前：平成30年3月 6日調査
整備後：平成30年5月17日調査



「事業効果」

(都)吉井北通り線の整備前は、本路線に並行して位置する2本の幹線道路(片側1車線)に交通が集中し、結節点となる交差点では頻繁に渋滞が発生していました。本路線が開通したことにより、それら2本の道路の交通量が減少し、渋滞が緩和されました。また、この地域を横断する路線全体の交通量が増加(約13%)し、地域のヒトやモノの交流を活発化させました。

昭和十一年三月、東京で「日本パパス」が設立された。創立者の一人は、東京府立第一高等学校の校長であった。この「日本パパス」が設立されたのは、第二次大戦の勃発前である。この頃、日本は、世界に覇を宣うことを目指していた。その一環として、日本は、海外に勢力を拡大しようとしていた。そのために、日本は、海外に「日本パパス」を設立した。この「日本パパス」は、日本と海外の間に、経済的な交流を促進することを目的として設立された。この「日本パパス」は、日本と海外の間に、経済的な交流を促進することを目的として設立された。この「日本パパス」は、日本と海外の間に、経済的な交流を促進することを目的として設立された。

主催者あいさつ

大澤正明知事

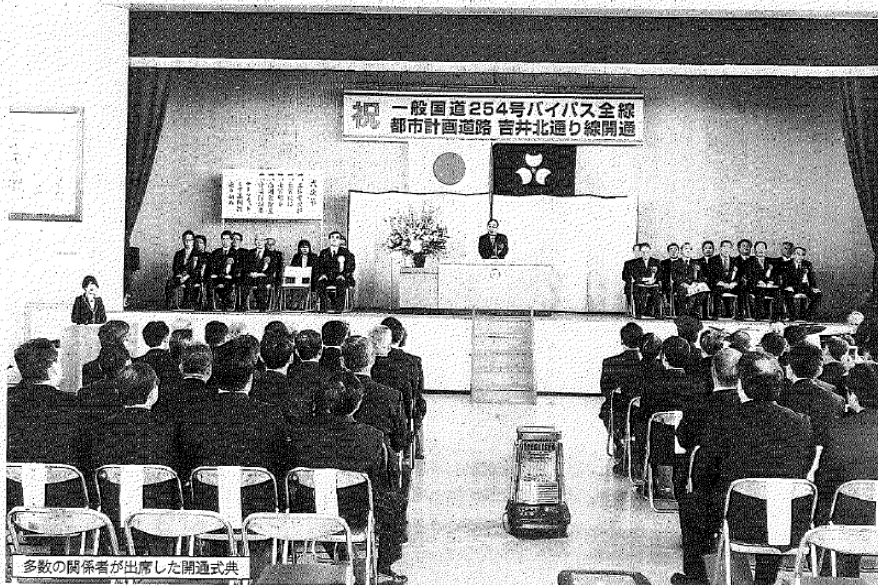
代理 渠渠土整備部長

中島 聡氏



本日、本郡地区から他地区までの延長1500m区間が完成し、昭和46年の富岡工区に始まった国道254号バイパスが、全が供用開始を迎えることができました。吉井北通り線は、梨が盛れる「7つの交差点連続」の主軸となる道路であり、高崎市吉井町の中心市街地を通過し、吉井町と富岡市を結ぶ地域の重要な幹線道路であります。

本区画の開通により、国道254号の渋滞が解消され、吉井町から富岡市までの円滑な交通が確保されることで、地域住民の利便性及び安全性の向上につながるものと期待しております。また、本線は昨年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑や世界遺産富岡製糸場へのアクセス道路も通っており、さらなる地域経済の活性化と文化振興が見込まれます。



多数の関係者が出席した開通式典

The left photograph shows a man with grey hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. He is holding a white rectangular sign with both hands. The sign contains handwritten Japanese text and several small red circular stamps. The right photograph shows a man with short brown hair and glasses, also wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is holding a similar white rectangular sign with both hands. This sign also has handwritten Japanese text and red circular stamps. Both men are standing indoors against a plain background.

鈴木源氏(鈴木建隆)

今井兼氏(高遠測景)

高崎市議会議員
青柳 隆史

本誌「高崎市議会議員」のコーナーに掲載された青柳隆史議員の肖像写真と、そのプロフィールが掲載されている。青柳議員は、高崎市議会議員として、市民の代表として活動している。その経歴や、市政に関する考えが、本誌を通じて市民に伝えられている。

青柳議員は、高崎市議会議員として、市民の代表として活動している。その経歴や、市政に関する考えが、本誌を通じて市民に伝えられている。

群馬県議会議員
織田 久幸氏

久幸氏は、群馬県議会議員として、群馬県民の代表として、県政の発展に貢献されています。久幸氏は、群馬県議会議員として、群馬県民の代表として、県政の発展に貢献されています。

高橋市長
富岡 賢治



富岡市長は、富岡市に於ける政治界の中心人物である。富岡市は、富岡市に於ける政治界の中心人物である。富岡市は、富岡市に於ける政治界の中心人物である。

來賓祝辭